

普及活動情勢報告（令和4年1月分）

高吾農業改良普及所

果樹部会剪定講習会を行いました！



12月21日、JA佐川支所果樹部会で梨と梅の剪定講習会を開催し、生産者6名が参加しました。

梨の剪定はベテラン生産者の手法を手本に学習し、梅の剪定は専門技術員を講師に呼び、基本的な考え方について学びました。

普及所からは、梨の発芽不良の原因と対策についての情報提供や作業の軽労化を目的とした電動剪定バサミの紹介を行いました。剪定については、「樹勢に応じた枝の取り方を意識して自分の園地でも実践したい」という声が聞かれ、電動剪定バサミを使用した生産者からは「太い枝も楽に切れる。」と好印象な声が聞かれました。

今後も普及所は、果樹の生産安定に向けた活動に取り組めます。

ショウガの予冷库で農家とGAPの点検を実施！



1月11日に佐川町内のショウガ予冷库でGAPの点検項目に従い農家と実践状況を確認しました。普及所からはほ場や収穫したショウガの管理方法、廃棄物管理、労務管理、昨年との変更点について聞き取りながら確認しました。

農家からは「トレーサビリティはできている。指摘された箇所は対応する。研修があれば参加したい。」と前向きな声があがっていました。

普及所は農家や生産組織のGAP導入を支援しており、今後も取り組み支援や現地指導に取り組めます。

次作に向けて課題の把握と対策を協議！（新規就農者面談）



佐川町担い手協議会では、1月18日から25日にかけて新規就農者（農業次世代人材投資資金活用者）15名の面談を実施しました。

18、19日はショウガ栽培に取り組む新規就農者を対象に行いました。令和3年度の作は根茎腐敗病で減収となった農家も多く、病害虫の早期発見・防除が課題といった意見が多くありました。

普及所からは農家のほ場状況に応じて土壌消毒の効果をあげるために耕耘を徹底することや土作りなど予防の必要性について助言指導を行いました。併せて来作の作付計画を確認し、労力確保や経費の見直しについて助言指導しました。

普及所では、新規就農者が早期に経営安定できるように関係機関と協力しながら支援していきます。